

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学科 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （12A組：森田 吉広） （12B組：土井野 輝歩） （12C組：宮坂 翔） （34A組：森田 吉広） （34B組：上新 佳広） （34C組：宮坂 翔）
（56A組：上新 佳広） （56B組：土井野 輝歩） （56C組：宮坂 翔）

使用教科書： （新編 数学Ⅰ（数研出版））

教科 数学科 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 ・2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 ・不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	【指導事項】 ・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式 【使用教材】 ・教科書 ・ノート ・問題集 ・（教員）デジタル教科書	※詳細は週ごとの指導計画に記載				15
	第2章 集合と命題 *集合の内容は『数学A』で実施。 【知識及び技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	【指導事項】 ・命題と条件 ・命題とその逆・裏・対偶 ・命題と証明 【使用教材】 ・教科書 ・ノート ・問題集 ・（教員）デジタル教科書	※詳細は週ごとの指導計画に記載				6
	第5章 データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	【指導事項】 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の関係 ・仮説検定の考え方 【使用教材】 ・教科書 ・ノート ・問題集 ・（教員）デジタル教科書	※詳細は週ごとの指導計画に記載				12
	定期調査						2

[illegible]